



楽しく子育て!

～香川県立図書館 子育て支援コーナー通信～

第171号

発行日

2021年11月19日

毎月19日は、「かがわ育児の日」



★司書のオススメ本～11月の新着図書から

『家事こそ、最強のビジネストレーニングである』

堀 宏史/著 フォレスト出版/刊 2021.10

本書には、長年のビジネス&家事人生で著者が発見した、仕事をやるように家事をこなすことで、驚くほどに家事がうまくいく「ビジ家事」メソッドが紹介されています。このメソッドで家事を行うと、ビジネスセンスも鍛えられるとのこと。

家事をすることにストレスを感じるビジネスマンの方、一度本書を手にとってみてはいかがでしょうか。



『はじめてのおそとパン 作って食べて最高に盛り上がる』

吉永 麻衣子/著 主婦の友社/刊 2021.10

「おそとパン」は、キャンプ場やベランダなどで焼くパンのことだそうです。

外でパンを焼くなんてすごく難しそうと思うかもしれませんが、やり方は、袋で材料をまぜて、フライパン等で焼くだけ。これなら初心者でもできそうですね。

家族で過ごす時間をもっと楽しみたいという方におススメです。

<11月の新着図書～新しくこんな図書が入りました～> ()は棚番号と内容です。

(支援1-1 夫婦・家族関係)

・『子どもを育てられるなんて思わなかった』

古田 大輔/編 山川出版社/刊

(支援1-5 育児エッセイ)

・『好きに生きて大丈夫』

ユン ジョンウン/著 SBクリエイティブ/刊

(支援2-1 子どもと住む家)

・『暮らしをそのままの自分に寄せて』

本多 さおり/著 主婦の友社/刊

(支援2-4 子ども支援)

・『ヤングでは終わらないヤングケアラー』

仲田 海人/[ほか]編著 クリエイトかもがわ/刊

(支援3-3 子育てヒント)

・『ジェンダーレス時代の男の子の育て方』

佐藤 律子/著 秀和システム/刊

(支援3-5 不登校)

・『「学校に行きたくない」と子どもが言ったとき親ができること』

石井 志昂/著 ポプラ社/刊

(支援4-2 子どもと遊ぼう)

・『段ボールで作る!動く、飛ぶ、遊ぶ工作』

Jonathan Adolph/著 オライリー・ジャパン/刊

(支援4-3 食育)

・『五感が育つ子どもの食育』

染井 順一郎/[ほか]著 保育社/刊

(支援5-1 特別支援教育)

・『学びに凸凹のある子が輝くデジタル時代の教育支援ガイド』

朝日新聞社/著 学研教育みらい/刊

(支援5-2 家庭教育)

・『子どもと大人の「共育」論』

森田 昭仁/[著] クロスメディア・パブリッシング/刊

●県立図書館の子育て支援コーナーの図書は、県内のお近くの市町図書館等から取り寄せができます。詳しくはお近くの公共図書館へご相談ください。

季節のお役立ち本 ～夫婦関係の上手く行くヒントになる本～

11月22日の「いい夫婦の日」をご存知ですか？「いい（11）ふうふ（22）」という語呂合わせと11月が「ゆとり創造月間」ということで決まったのだそうです。

最近読んだ本によると、夫婦仲が良いことで、自分自身も人生を幸せだと感じる事ができるうえに、両親の仲が良い家庭で育った子どもは、心が安定し、自己肯定感の高い子どもになるそうですよ。

今回は、夫婦関係が上手くいくヒントになる本を紹介します。



『家族の幸福度を上げる7つのピース』
前野 隆司, 前野 マドカ/著 青春出版社/刊 2020.11

著者は、ご夫婦で幸福学の研究者です。「幸福学」は、心理学や統計学をベースに、人が幸せになるメカニズムを明らかにする学問だそうです。

本書には、新型コロナウイルスの流行を機に、どうすれば家族の幸福度が上がるのか、研究した結果をもとに、夫婦それぞれの視点に立った家族との接し方、過ごし方、会話の仕方などの具体的なアドバイスが掲載されています。

●子育て支援コーナーには、他にもこんな本があります。

- 『ムカついても、やっぱり夫婦で生きていく 夫と機嫌よく暮らす知恵』
一田 憲子/著 エムディエヌコーポレーション/刊
- 『夫を最強のパートナーにする方法 2人で理想の未来を叶えていく』
ヒロコ・グレース/著 大和書房/刊
- 『すべての夫婦には問題があり、すべての問題には解決策がある』
犬山 紙子/著 扶桑社/刊
- 『夫婦げんかと子どものこころ 健康な家族とはなにか』 川島亜紀子/著 新曜社/刊
- 『これがわかれば夫婦はぜったい仲良くなれる賢い人の言い方・伝え方』
吉岡愛和/著 コスモ21/刊



<子育て支援担当より>

普段、あまり勉強にはやる気を出さない息子。母としては、もう少しやる気を出してほしいと思ったので、以前読んだ子育ての本の言葉を思い出し、「ママの息子なんだから、賢いはず。頑張れ！」と言ってみました。すると、息子はしばらく沈黙した後、「ママが賢いと言われてもな。最近のママは物忘れはひどいし、すぐ忘れるし、今後が心配やわ。」と言われました。ほんとにその通り。今度は私が沈黙する番でした。そして、うっかり子育て本の言葉を流用した自分を後悔しました。

息子は、こんな正確な指摘ができるくらいになったのだから、勉強のことはもういいかと思えました。

